

第9回実験動物管理者等研修会の開催について

公益社団法人日本実験動物学会理事長 浦野 徹
実験動物管理者研修制度委員会委員長 久和 茂

(公社)日本実験動物学会(以下、本学会)が平成25年度から実験動物管理者研修会を始めてから、はや4年余が経ちました。おかげさまで、これまでに約1,000名の方々にご参加をいただきました。どうもありがとうございます。

第9回実験動物管理者等研修会を以下の要領で開催いたします。今回は、昨秋発表された「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」の内容を各講義に取り込み、内容をリニューアル致します。実験動物の飼養保管、動物実験の運営管理等に関わる方々にとって大いに参考になるものと思います。

参加を希望される方は参加申込票に必要事項を記入し、本学会事務局宛にFAX(03-3814-3990)でお申し込みください。プログラムや参加方法の詳細は本学会のホームページ(<http://jalas.jp/meeting/seminar.html>)に掲載していますので、そちらでご確認ください。

日時：平成30年2月19日(月)～2月20日(火)

会場：東京大学農学部3号館4階会議室

参加費：4,000円(会員)、5,000円(非会員である維持会員団体職員)、6,000円(非会員)

定員：150名

その他：受講者には資料を配布、受講修了証を発行

主催：(公社)日本実験動物学会

後援：環境省、厚生労働省、農林水産省、文部科学省他(予定)

プログラム

- 講義1 関連法令・指針「実験動物管理者」の役割と責任
- 講義2 動物実験の機関管理と動物実験委員会の運営
- 講義3 実験動物飼育施設の環境と動物への影響
- 講義4 施設・設備の衛生管理(清掃、洗浄、消毒、昆虫・野鼠対策、廃棄物処理)
- 講義5 実験動物の導入、輸送、輸出入、記録管理
- 講義6 実験動物の飼育管理(器材、日常管理、飼料、飲水、繁殖、個体管理、環境エンリッチメント)
- 講義7 各種実験動物の特性
- 講義8 実験動物の健康管理(検疫、順化、主な疾病・傷害、感染症予防対策)
- 講義9 労働安全衛生、危機管理
- 講義10 人獣共通感染症とバイオセーフティ
- 講義11 げっ歯類の麻酔、鎮痛、鎮静、試料採取、安楽死
- 講義12 中大動物・霊長類の麻酔、鎮痛、術中術後管理、安楽死
- 講義13 遺伝子組換え動物実験と感染動物実験の規制
- 講義14 社会からみた実験動物(仮題)